

授業科目名	11. 実践栄養学専門演習：多職域合同ワークショップ		
授業形態	演習		
単位数	1単位		
時間数	22.5 時間（100分授業×14回）		
担当教員名	武見ゆかり、石田裕美、高戸良之(以上が適宜組み合せて参加) 第13～14回はプログラムに関与した他講師も参加		
担当形態	複数		
【授業のテーマ及び到達目標】 自らの置かれたセッティング(場)において、ターゲットとする集団の健康課題・栄養課題を明確にし、その解決のための課題(予算、マンパワー、連携先等)を見出し、その課題を克服する企画の立案を行い、ロジックモデルを作成できるようになる。多職域、多職種でチームを作りグループワークを行うことで、立場が違えば課題の味方や解決方法が異なることを理解し、より幅広い課題解決への発想力と企画力、及び論理的思考力の修得を図る。			
【授業の概要】 さまざまなセッティング(事業所給食、スーパーマーケット、ドラッグストアなど)で、健康的な食品・食事、及び栄養情報の提供を行う上での課題発見・解決(Issue finding)のワークショップ演習を行う。3-4名程度の小グループに分かれて、対象集団と課題を設定し、食環境整備のためのロジックモデルを作成し、発表と討議を行う。発表には、本プログラムに関わったできるだけ多くの講師の出席を促し、議論を行う予定。			
【授業計画】			
第1回	オリエンテーション(演習の目的、進め方)、ロジックモデルの考え方、セッティング(場)とターゲット(集団)の選択		
第2回	選択したセッティングのターゲット 集団の特徴の明確化	ライフスタイル、価値観等の明確化	途中で グループ 発表
第3回		健康課題、栄養・食生活課題の明確化	
第4回		目標設定(アウトカム、サブアウトカム)	
第5回	課題解決のための目標設定と企画立案	目標を達成するための食環境整備のアクションプランを考える	途中で グループ 発表
第6回		目標達成に向けて利用可能な資源、連携先、スケジュールリングを考える	
第7回		評価計画を考える(企画評価、プロセス評価、アウトカム評価の指標、及びそれらを把握する方法)	
第8回		プレゼン準備	
第9回	第1回グループ発表	第1回のプレゼンテーションを行い、ディスカッション	
第10回		計画の修正	
第11回			
第12回	プレゼン準備	グループ発表の準備	
第13回	第2回グループ発表と討論、 講師より総合コメント	グループ発表＆ディスカッション	
第14回		全体討論、出席した講師全員からコメント	
【授業外学習】 日頃から自分の職場の課題、その解決のために取り組まれていることなど、自分が直接かかわっていない業務も含めて把握しておくこと。関連の資料・文献など、メディア情報も含め、幅広く収集しておき、議論を深められるよう準備をすること。			
【教科書】 特になし			
【参考書】 必要に応じて指示			
【教 材】 随時配布			
【成績評価の方法・基準】 授業への参加態度(グループワークの状況、議論への発言など)、グループ発表内容、個人レポートで総合的に評価			
【備 考】 土日、祭日に開講し、朝から夕方まで連続で、4日間実施予定。最終日は、本プログラムに関わったできるだけ多くの講師の出席を促し、より多面的に議論を深めていく。			